

令和4年度

公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告

総括的概要

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症（以下感染症）と
言う。）からの、社会経済活動の正常化が進みつつある中、その一方で
世界的なエネルギー価格上昇や資材価格高騰等、新たな課題が発生しま
した。

丹後地域においても、人材不足やコスト高といった課題が浮き彫りに
なり、効率的な経営・生産活動・人材育成等を果敢に取り組み、動き出
した経済に柔軟に対応していかなければいけません。

当センターにおいては、全国旅行支援等の影響で観光客の来館が増
え、店頭販売額も対前年度45%増と順調に推移しました。また、コロ
ナ禍の際に販売を強化したECサイトやふるさと納税返礼品も順調に売上
が増加しました。

また、販路拡大を重点施策として、京丹後市食品加工支援センターを
活用した新商品の開発並びにその製造等を支援し「売れる商品づくり」
に取り組みました。

以下、本年度の事業内容を報告します。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 丹後地域新商品・新技術開発支援事業

加工食品の保存性の向上や価格の適正化など丹後地域が抱える問
題を解消すべく、京丹後市食品加工支援センターを活用し、新商
品・新技術の開発、試作品・パイロット商品づくりを行うとともに、
販路開拓事業で収集した消費者情報に基づき、既存商品の改良、
新商品の開発指導を随時実施しました。

（1）京丹後市食品加工支援センター運営事業

令和4年度に京丹後市が整備した京丹後市食品加工支援セン
ターの指定管理者に指定され、令和5年1月から食品加工支援
センターを稼働し、地域内事業者の食品製造をサポートしまし
た。

令和4年度実績 2商品製造、製造相談 22件

資料1

（2）高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

平成27年度に当センター内に整備した高機能急速冷凍装置を丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者などに開放し、それぞれの分野において「食」に関する新たな戦略の構築を支援しました。

令和4年度活用実績 21社、延べ245回

(3) 栄養成分分析サービス

改正食品表示法で義務付けられた栄養成分表示に対応するため、当センターで分析サービスを実施しました。

令和4年度実施実績 2社、4点

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業の機会を促進するため、以下の人材育成事業を実施しました。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業として創業支援窓口を開設し、京丹後市をはじめとした関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行いました。

2 京丹後市職業訓練校共催事業

丹後地域の伝統的地場産業である着物の着用機会の増加や丹後ちりめんの生産に関わる人材の育成を目指し、きもの着付講座、染色講座を予定していましたが、感染症の影響により中止としました。

3 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

丹後地域の加工事業者等に対し、販路が求める加工技術に関する研修を行うことで事業者及び地域の総合的なレベルアップを図りました。

(1) 食品品質向上セミナー

○テーマ 地域産品をさらに活かす！スチームコンベクション活用セミナー

○日時 令和4年11月9日（木）午後2時から4時

○場所 丹後王国「食のみやこ」 小町スコーラ

○受講者 7企業、9名

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

（1）令和4年度Tango Good Goods認定事業

平成11年度から取り組んでいるTango Good Goods認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。

食品表示については、令和4年4月1日から新たな食品表示法が施行され、原料原産地表示が義務付けられるなど、一層厳格な製造管理が求められ、Tango Good Goods認定商品には適正な表示をするように指導を行いました。

また、認定品へのTango Good Goodsロゴシールの貼付を推進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

ア 認定状況

（ア）申請状況

申請者数38業者、申請商品数61点

（イ）認定状況

認定者数38業者 認定点数60点

（3年間の認定有効期間のあるもの 令和2～4年度）

認定者数89業者、認定点数208点

（ウ）優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は3点が表彰されました。また、優秀産品を示すロゴシールの作成、配布を実施しました。

イ Tango Good Goods認定推進委員会開催

事業実施においては、認定推進委員会委員10名に就任いただき認定について協議しました。

（ア）第1回Tango Good Goods認定推進委員会
令和4年4月21日（木）

（イ）第2回Tango Good Goods認定推進委員会
令和4年8月4日（木）

（ウ）Tango Good Goods審査会

審査員として専門家（デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー）3名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会 令和4年8月2日（火）・3日（水）にアミティ丹後で実施

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施
ウ T a n g o G o o d G o o d s 認定品カタログの作成（B
toB用）及びバイヤーへの配布

令和4年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等で
バイヤーへ配布しました。（作成部数700部）

（2）第24回T a n g o G o o d G o o d s 見本市の開催

24回目となる見本市を京都丹後ブランド産品会との共催によ
り、11月26日（土）、27日（日）に宮津市民体育館におい
て開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内
PR及び流通促進を図りました。

また、令和4年度認定品を一堂に集めPR展示しました。

資料2

2 京都丹後ブランド産品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

T a n g o G o o d G o o d s 認定事業者のうち、地域外へも販
路開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」
の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を
実施しました。

（1）京都丹後ブランド産品会の主な事業

- ア 丹後のええもん うまいもん展の開催
- イ 展示即売会等の開催情報の提供
- ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布
- エ ECサイトの運営

資料3

（2）地場産品販路開拓支援事業

丹後王国「食のみやこ」との連携により、京都市内をはじめとする
近隣の大都市圏において農産物及び地場産品の販路開拓を行い、地域商社
として流通促進を実施しました。

3 染色体験・手織体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめんや織物に対する理解を深め、
地域産業に触れてもらう機会を創出するため、網野染色研究会「茜会」
や網野機業組合の協力を得て、体験事業を実施し情報発信及び誘客コ
ンテンツの造成・強化を図りました。

（1）染色体験

感染症等の影響による休止期間もありましたが、感染症対策を
行い、145名（前年対比226%）を受け入れました。

(2) 手織体験

28名（前年対比280%）を受け入れしました。

4 「輝け丹後 未来をてらす光の庭」イルミネーション点灯事業

コロナ禍で人々の沈んだ心に明るさを取り戻すよう地域住民コミュニティ施設である当センターにイルミネーションを設置し、点灯式をはじめとするイベントを展開し、地域住民の皆さんや高校と連携しました。

- 点灯式 令和4年7月23日（土）午後6時～午後7時30分
丹後緑風高等学校網野学舎吹奏楽部・網野中学校吹奏楽部等によるイルミネーションコンサート、物産展の実施
- 点灯期間 令和4年7月23日（土）～令和4年8月31日（水）
午後7時～午後10時
- 主催 光り輝く京丹後街づくり実行委員会
- 協力 丹後緑風高等学校網野学舎美術部
（公財）丹後地域地場産業振興センター

IV 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月「アミティ情報」を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の商品開発やセンターとの連携強化を図ることができました。

資料4

2 センター公式ホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できるタイムリーな情報を提供することを心がけ、地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンター公式ホームページから発信しました。

併せて、丹後地域及びセンター情報を発信するSNSによる情報発信を展開し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客の増加を図りました。

また、ホームページやふるさと納税サイトを含むECサイトへの誘導策としてSNSの活用に注力しました。

- 丹後地域地場産業振興センター公式ホームページURL

<https://amitytango.jp/>

○ SNS 活用状況

FaceBook・Instagram・Twitterに投稿

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な柱の事業である地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ193業者の地場産品約3,000品目に及ぶ製品を展示・販売しており、来館者の注目度も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただいています。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。

店舗における購買動向を分析し、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎となっています。

また、店舗における商品の見せ方を工夫することで、商品の特徴、魅力をアピールするVMD（ビジュアルマーチャンダイジング）に努め、出展者の商品の魅力発信力を強化するとともにバイヤーへのVMDを含めた商品提案を行いました。特に、近年では地域住民への利便サービスの向上による来場者の増加を目指し、農産物直売コーナーの充実を図っています。

2 丹後産品情報発信事業

京都丹後ブランド産品会との共催で、消費者向けのカatalog（中元・歳暮の2種）を作成し顧客等へ配布するとともに、消費者が直接産品を購入できるECサイトの運営強化及び京丹后市ふるさと納税サイトの啓発を図りました。

独自ショップのカートシステムを変更し利便性の向上を図りました。

(独自ショップ) <https://tango.jibasan-shop.jp/>

(Yahoo!ショップ) <https://store.shopping.yahoo.co.jp/amitytango/>

資料5

VI 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター2階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

資料6

2 京丹後市企業立地推進事業

京丹後市企業立地推進事業の実践場所として、平成27年度に整備したテレワークオフィスの一部をコワーキングスペースとして活用しました。

3 京丹後市観光公社との連携

情報センターを京丹後市観光公社に貸し出し、観光案内業務、丹後情報の発信・配布、共同事業の実施など、観光と地場産業が連携した地域資源の新たな活用展開を行いました。

Ⅶ 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等の利便に資するため土産品としてキーホルダー等の販売を行いました。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設21年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており、朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き毎週日曜日に開催しました。

（1）アミティ丹後春の感謝祭

5月1日（日）午前8時から午前10時開催

来場者350人

（2）アミティ丹後秋の感謝祭

11月6日（日）午前8時から午前10時開催

来場者400人

3 野村克也ベースボールギャラリー

故野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、地域の観光資源として展示を行いました。

資料7

VII 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和4年4月15日（金）	○理事長の選定について
令和4年5月30日（月）	○令和3年度事業報告及び収支決算の承認について ○評議員会の招集について
令和4年6月28日（火）	○理事長の選定について ○専務理事の選定について
令和5年3月31日（金）	○令和4年度専決処分事件の承認、公益財団法人丹後地域地場産業振興センター給与規定の一部改正、公益財団法人丹後地域地場産業振興センター再雇用規定の一部改正、令和5年度事業計画及び正味財産増減予算の承認について ○評議員会の招集について

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和4年4月7日（木）	○理事の選任について
令和4年6月28日（火）	○令和3年度貸借対照表、損益計算書の承認について ○理事、監事の選任について

3 監査会

開催日	内容
令和4年5月20日（金）	○令和3年度事業・決算監査

4 全国地場産業振興センター協議会

(1) 全国地場産業振興センター協議会総会

令和4年7月8日（金）午後1時～午後4時30分

名古屋市 愛知県産業労働センター「ウインチあいち」

○令和3年度事業報告・収支決算について

○令和4年度事業計画・収支予算について

○時期総会開催地の決定について 他